

**研究名：** 胎児診断された Ebstein 奇形/三尖弁異形成の生命予後指標における検討

## 1 . 研究の目的

エプスタイン病や三尖弁異形成は先天性心疾患の約 0.5-1%と稀な疾患です。その重症度は幅広く、

生後治療が不要な症例もある一方、循環不全で胎児死亡・新生児死亡に至ることもあります。

よって、予後を見込んだ胎児診断が、胎児期および出生後の治療において重要です。

今回当院でエプスタイン病や三尖弁異形成と診断された患者さんの超音波所見より、胎児期の重症度

診断と予後の関連性について検討しました。

## 2 . 研究の方法

**研究対象：**当センターにて 2014 年 4 月～2022 年 12 月までに胎児のエプスタイン病か三尖弁異形成と診断された方

**研究期間：**倫理審査委員会承認後～2023 年 8 月 20 日

**研究方法：**後方視的研究(診療が終わった患者さんの診療録をみて超音波所見や児の生命予後などの結果をまとめます)

## 3 . 研究に用いる情報の種類

病歴、検査データ 等

**患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。**

## 4 . 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

## 5 . 研究実施機関

## 6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さん、もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、**2023年8月20日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 藤野佐保

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7062）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 藤野佐保